

授業概要

本講義では、人と社会の関わりにおけるさまざまな現象について、心理学的な視点からどのようなことが明らかにされているのかを解説する。基礎的な社会心理学の理論や知見について解説するだけでなく、実験や調査を模擬的に体験する活動を通じて、どのような方法で検討されてきたのかについても理解できることを目指す。また、先行研究を鵜呑みにするのではなく、自分が心理学者だとしたらどのように考えるかについて、批判的に考えることも促す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	社会心理学とは何か
第 3 回	社会心理学の方法論
第 4 回	人や社会をとらえる心の仕組み① 確証バイアス
第 5 回	人や社会をとらえる心の仕組み② 情報処理の基盤
第 6 回	人や社会をとらえる心の仕組み③ ヒューリスティック
第 7 回	感じたことの影響過程① 気分の効果・影響
第 8 回	感じたことの影響過程② 主観的感覚の役割
第 9 回	感じたことの影響過程③ 感情の適応的意味
第 10 回	自己① 自己概念
第 11 回	自己② 自己評価
第 12 回	自己③ 他者に見せる自己・見られる自己
第 13 回	態度と態度変化① 態度形成の理論
第 14 回	態度と態度変化② 説得と態度変化
第 15 回	態度と態度変化③ 態度と社会行動
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・社会心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- ・社会心理学と日常生活との関わりについて、具体的に意見を述べることができる。

履修上の注意

授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いの場を設ける。他の受講生とも協力しながら、主体的に授業に参加することを求める。

予習・復習

予習：指定された教材に目を通し、疑問点やもっとよく知りたい点を考えておくこと。
復習：授業で学習した内容について、分かった点やまだよく分からない点をまとめておくこと。
(予習や復習を通じて出てきた疑問点については、授業内でフィードバックを行う)

評価方法

学期末試験60%、授業内レポート30%、受講態度10%
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、学期末試験をレポートに変更する可能性もある。

テキスト

教科書は特に指定しない。
必要に応じて参考資料を授業内で指示する。

参考書：池田・唐沢・工藤・村本『補訂版 社会心理学』有斐閣